

## ひろしまサンドボックス・プロスポーツの新たな応援スタイル構築実証業務 企画提案書作成要領

広島県が実施する「ひろしまサンドボックス・プロスポーツの新たな応援スタイル構築実証業務」に関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、「ひろしまサンドボックス・プロスポーツの新たな応援スタイル構築実証業務仕様書」の趣旨に沿って提案すること。

### 1 企画提案時の提出書類（正本1部，副本9部）

- ① 本業務企画提案申込書（様式①）
- ② 本業務提案書（様式②）
- ③ 実施スケジュール（様式③）
- ④ 見積内訳書（様式④）

### 2 作成要領

#### （1）一般事項

- ア 用紙は、原則 A4 判両面使用とし、縦置き横書きとすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- イ ページ番号は表紙及び目次を除き通し番号とし、各ページ下部中央に印字すること。
- ウ 専門的な知識を持たない者でも理解できるように、イメージ図等を用いるなど極力分かりやすい表現で記載すること。

#### （2）企画提案書について

- ア 提案書記載事項一覧（別紙）により記載した提案項目を任意様式で記入すること。
- イ 審査の公正を期すため、企画提案書の副本9部には、プロポーザル参加者が特定できるような表示（事業者名やロゴマーク等）を記載しないこと（「当社」等と記載）
- ウ 事業者の過去の類似事業の実績を記載すること。

#### （3）見積書について

本業務に係る所要経費をすべて見積もること。また、見積もりの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

### 3 プレゼンテーションについて

プレゼンテーションにおいては、事前に提出した企画提案書の内容を説明すること。

## 提案書記載事項一覧

提案項目	審査基準
ア 新規性	○ 最新のIT技術、通信技術、クラウド、AIなどを複合し活用した提案となっているか。
	○ プロスポーツの新たな応援スタイルの提案となっているか。
	○ これまでにない新しいビジネスモデルの創出が期待できるか。
イ 実現性	○ 実証実験から実装化までのステップが明確に示されているか。
	○ 事業の実施体制は十分な体制であるか。
	○ コンソーシアムの参加者の経営基盤、管理能力、過去の実績などを総合的に評価し、事業を実現するに足る参加者であると評価できるか。
	○ 事業の内容、スケジュールの状況などから、計画が実現できるものと判断できるか。
ウ 展開性	○ プロスポーツをモデルとしたデジタル化によって、ソフトウェア化、システム化によりチームの新たな収入確保策への展開が見込めるか。
	○ コンソーシアムを構築することによって、他の企業や地域、プロチームが同様のソリューションの導入を希求する状況となることが期待できるか。
エ 継続性	○ 実証実験終了後、県内プロチームに継続してメリットとなる事業展開が見込める計画となっているか。
オ 地域性	○ 広島が誇るプロスポーツの特徴を生かした広島ならではの提案になっているか。
	○ 広島県の組織である「スポーツアクティベーションひろしま(SAH)」を巻き込み、波及させ、広島に技術や知見が残る提案となっているか。【任意提案】
カ 経費	○ 提案内容に対して妥当な見積額か